



女子サッカー一部報告

INHERITED PATIENCE

~ 第31回全日本女子サッカー選手権大会 ~

全国大会の切符をつかむ

関西大会で準優勝

女子チームの日本一を決める第38回関西女子サッカー選手権大会兼第31回全日本女子サッカー選手権大会関西大会が10月4日から18日まで行われ大阪第1代表で出場した大阪桐蔭高校は準優勝となり初の全国大会出場を決めた。初戦となった準々決勝では昨年1回戦で敗れたINAC(アイナック)レオネッサアマチュアを3-1で勝利、続く準決勝はU-18大阪予選で痛い黒星を喫したヴィトーリアを2-1で破り決勝に進出した。決勝は日ノ本学園高等学校に敗れ準優勝となったものの上位2チームまで出場できる全国大会への切符を掴みとった。

決勝(10月18日、大阪体育大学)80分ゲーム

大阪桐蔭高校 0 - 7 (0 - 2)日ノ本学園高等学校(カッコ内は前半のスコア)

[得失点]15分、40分、55分、62分、72分、73分、79分失点

4連覇をかける日ノ本学園との対戦となった。すでに全国大会行きを決めている両チームだが大阪桐蔭にとっては強豪チームと対戦できるチャンスとなった。前半の立ち上がりこそは良いリズムで試合に入ったが15分に右サイドを破られ失点、終了間際にもコーナーキックから追加点をあげられてしまった。前半は何とか2点で抑えたが、後半も守備面での修正ができず大量点を奪われた。

準決勝(10月12日、大阪体育大学)

大阪桐蔭高校 2 - 1(1 - 0)FC ヴィトーリア

[得失点]32分佐藤(莉)、58分萩原、72分失点

勝てば全国大会出場が決まる大切な試合。ヴィトーリアとは、U-18大阪大会の決勝リーグで負けているため気合いが入った。開始から拮抗したゲームとなった。32分左サイドから攻撃した宮本(実)のクロスボールを中央で佐藤が粘り強くゴールに押し込み待望の先制点を奪った。後半もお互い決定的なチャンスをつくれないうまま時間が過ぎた。ややヴィトーリアの動きが少なくなってきた後半18分右コーナーキックからのこぼれ球を萩原が見事なミドルシュートを決め追加点をあげた。だがここからヴィトーリアの反撃にあり、32分ゴール前のこぼれ球か

ら失点してしまった。なんとか相手の猛攻に耐え手にあせにぎる戦いの末2-1で接戦をものにすることができた。これまでのくやしい思いや辛かったことが、この勝利で少し取り戻せたと思う。夏のU-18大阪予選の悔しい負けの後、3年生を中心にもっと活気のある練習雰囲気をつくりサッカーに集中しようと全員で取り組んだ。チームが皆一つになって頑張ったからこそ掴みとれた勝利だと思う。

2回戦(10月11日、大阪万博協会グラウンド)

大阪桐蔭高校 3 - 1(0 - 0) INAC レオネッサアマチュア

[得失点]50分松川、52分金井、56分松川、72分失点

負けたら3年生の引退がかかる大事な一戦だった。相手は昨年10月5日同じ大会で負けを喫したINAC(アイナック)アマチュアとなった。大阪桐蔭は前半は絶対に守りきるということで守備ラインは下げ気味のリトリートで戦った。その中でも相手のミスを見逃さずボールを奪い、何度かチャンスをつくるもの決めことはできず前半はお互い無得点で終わった。

後半は相手の活動量が落ちてくると予想し点を取りに行こうとプレスの位置を前方に移した。守備の意識もしながらも攻撃を仕掛ける大阪桐蔭は後半10分萩原のパスを受けた松川が右サイドでドリブル突破を図り、中に切り込んでGKの頭上を越えるシュートで先制点をあげた。流れに乗った大阪

桐蔭は右コーナーキックから金井が追加点を加えて優位に試合を進め、さらに16分に再び松川がゴール左からのシュートを決めリードを広げた。32分にゴール前のフリーキックから失点したが逃げ切った。

昨年は実力を発揮できないまま敗れた相手に対してこの日は集中力を切らすことなく勝利した。試合後みんなで「目標は今日の試合に勝つことではなく、全国大会出場。明日も勝利し、全国大会の切符を手に入れよう」と決意を新たに確認した。

全日本女子選手権大会: 年齢制限のない日本で一番強いチームを決める大会。男子の天皇杯にあたる。高校生以上の女子チームが参加する。Lリーグのチームは12月に行われる全国大会から出場。

壮行会

11月3日日本館食堂で全国大会出場壮行会が開かれた。監督、コーチ、保護者、選手が全国大会出場を祝った。保護者から手作りによる横断幕と千羽鶴をいただいた。応援してくれるみんなが今回の全国出場のため力を入れてくださって本当に嬉しく思った。また昨年卒業した部員も壮行会に駆けつけエールを送ってくれた。

キャプテンは「本当に多くの方に応援していただいてつかめた全国大会出場だと思うので皆様のためにも、全国大会では体を張って全力でプレーしていきたい」と抱負を語り、最後に全員で輪になって校歌を歌い握手をして終えた。

全日本女子選手権組合せ決まる

L2 伊賀FCと対戦

第31回全日本女子サッカー選手権大会の組合せが決まった。大阪桐蔭高校は1回戦(12月6日、三重県鈴鹿スポーツガーデン)でLリーグディヴィジョン2準優勝の伊賀フットボールクラブノースと対戦となった。実力上回る相手にサプライズを起こしたい。